

【 第7回中標津町まちづくり町民会議報告 】

日時：令和2年10月1日（木）19：00～21：00

場所：中標津町役場 3階301号会議室

出席者：20名（中標津まちづくり町民会議委員13名、
コンサルタント1名（㈱ぎょうせい）（Zoom 会議により）、事務局6名）

傍聴者：1名

<会議次第>

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 議 題
 - （1）全体討論「まちの目指す姿」
 - （2）全体討論「まちの目指す姿（分野別）」
 - （3）その他
- 4 閉 会



[会長挨拶]

<配布資料>

特になし

<会議結果報告>

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 議 題

事務局より今回の話し合い内容の主旨を説明。

- （1）全体討論「まちの目指す姿」

キャッチフレーズの事務局案を提示。

 - ①空と緑と未来をつなげるまち中標津
～住みたい町、住み続けたい町～
 - ②そらとみどりが人をつなぐまち中標津
～住みたい町、住み続けたい町～
 - ③人・仕事・空とみどり つながりが未来を築くまち中標津
～住みたいまち 住み続けたいまち～
 - ④住みたいまち 住み続けたいまち中標津
～空と緑が生き生きとし、全てがつながるまち～
 - ⑤空・人・みどり みんながつながる 中標津
～あつまるまち 住み続けたいまち～



[会議風景]

- 会 長：①について、「空と緑を未来につなげるまち中標津」にすると将来展望のような未来につなげる言葉になるのではないかと思います。
- 委 員：①と⑤は、聞いた感じはスムーズに耳に入ってくる。
- 委 員：全体を通してみると、「と」など間に入る言葉が多くて、スパッと入ってこない。①でいくと「空と緑 未来につなげるまち中標津」の方がすっきりするイメージ。
- 委 員：①と⑤が良いのではと思う。空と緑というのは、漢字とひらがなが混在していて、ひらがなの方が創造性は増すのかなと思う。「空」は漢字で、「緑」はひらがなが良いかなと思う。
- 委 員：町の目指す姿のキャッチフレーズということで、見た瞬間にキャッチフレーズとしてわかりやすいのは④。キャッチフレーズはどういう町にしたいかだと思う。
- 委 員：住みたい町住み続けたい町のように同じフレーズが続いてしまうのはもったいないかなと思う。「やさしい」などニュアンスの違う言葉も入ると良いのかなと思う。
- 委 員：③が良いかなと思う。人々がつながって未来を築いていくという希望的なことを感じ、それが住みたい町住み続けたい町なのかなと思う。
- 委 員：③と④が混ざった内容が良いと思う。④は人という言葉がないが生き生きという言葉は良いと思う。
- 委 員：④の「全てがつながるまち」というフレーズは良いと思う。
- 委 員：①が良いと思う。「未来」という言葉は良い。
- 委 員：将来どういう状態にしたいのかを考えていけばいいのではないかと思います。
- 委 員：目指している姿はどれなのかというのがわかりやすいのが、④である。今若い人たちが抽象的な内容を見て興味を示すのか。わかりやすい言葉で「中標津はこうしたい」というのを示せば興味を持ってくれるのではと思う。
- 委 員：キャッチフレーズなので、長々と示す必要はない。④の「空と緑が生き生きと」という部分が引っかかる。
- 委 員：④の「空と緑が生き生きとし」を「人と自然が生き生きと（融合）し」などにしたらどうか。未来というフレーズもよいと思う。
- 委 員：④のサブタイトルを「空と緑が未来へすべてつながるまち」にすればしっくりくると思う。
- 会 長：抽象的な言葉は口当たりがいいと思う。方向性をもった考えだと④は外せないのかなと思う。万人受けはするが、方向性はどうかと思う。
- 委 員：未来という言葉は、感じのいい言葉だと思うが、私たちの「つながる」は未来だけじゃないというのを思うと入れない方がいいのかもしれない。「つながる」だけにすると人や時間などのつながりを意味するものになると思う。「すべてがつながる」の方が良いと思う。
- 委 員：空と緑は何も変えてくれない。結局変えるのは人だと思う。「人と人がつながる」を強調した方が良いと思う。
- 委 員：人だけではなく、ものや歴史もつながると思う。
- 委 員：それなら、何も入れないで「すべてがつながる」というようにした方が良いのではないか。

- 委員：空と緑の意味合いは、「空」は宇宙から見る空や、空港など、「緑」というのは、自然などがある。中標津が誇れる格子状防風林も宇宙から見える。そういうのを網羅している。
- 委員：未来と自然などは将来につなげていくというのもよいのではないかと思う。
- 委員：子どもや町外の方にもわかりやすいような言葉がいいのではないかと思う。
- 委員：⑤だと、人しか繋がっていないイメージになる。キャッチフレーズとしては弱い。
- 委員：⑤がしっくりきている。「住み続けたいやさしいまち」にするのも良いと思う。
- 委員：町外的に出すキャッチフレーズなのか、町内の方に浸透させるためのキャッチフレーズなのかどちらなのか。
- 事務局：今後の話し合いの中で進めていく内容ではあるが、事務局としては、まずは町民の方に理解してもらう。住んでいる人たちにそう思ってもらえるようにすることが最初に大切なのではないかと思う。
- 会長：この町でどうやっていくかという具体策として、人と人を大事にしていくというのを重要視した方が良いのではと思う。
- 委員：人口が減っていくのを見越して考えていくというのも大事だと思う。空港があり、来やすさをアピールしていくために、「空」という言葉も入れていいのかなと思う。
- 委員：⑤も「すべてが」つながるというように「すべてが」という言葉に変えてもいいのではないかと思う。
- 委員：キャッチフレーズによってはその内容に興味を持ってもらえるのではないかと思う。
- 委員：人は重要だと思う。明日の歴史も人が作っていく。
- 委員：物が動けば人も動く。人が先に動いても物が動かないと思う。人だけを入れちゃうと、物や未来につながっていかないのではないか。
- 委員：人と人のつながりがあれば、物が動いていくのだと思う。
- 委員：空港が旅客便に特化しているということをやってきたために、減便の原因になっていると思う。物流倉庫があり、貨物便が飛んでいけばもっと違ったと思う。
- 会長：空港を使った物流というのを考えると、「空」という言葉は残しても良いかと思う。
- 委員：②を少し変えて、「空とみどりが人をつないでいくまち中標津」とするのはどうかと思う。
- 委員：「町」が漢字ではなくて、ひらがなの方が良いのかもしれない。

キャッチフレーズ

空とみどりが人をつないでいくまち中標津
～住みたいまち、住み続けたいまち～

上記のキャッチフレーズでまとまった。

～休憩（10分）～

(2) 全体討論「まちの目指す姿（分野別）」

【産業分野】

委員：これは、分野別のキャッチフレーズを作るということなのか。

事務局：今回については、分野別で何を大事にしていきたいかを決めたいと思う。

会長：一番人を引っ張ってこられるのは「農業」だと思う。今はコロナ禍であり、都会で仕事ができない人が引っ越してきて、農業を手伝ってくれている。そのように人を呼び込んでいけるのは農業だと思う。

委員：産業の中では、農業が一番キーになる産業だと思う。商業も盛んな町だと思う。農業に元気があると商業にも良い影響がある。観光を踏まえ、今あるものを活かしていくことができるのは、農業であると思う。

委員：みなさんの意見を見ても、農業は外せないと思う。つながりという部分でいうと商業も欠かせないものだと思う。

委員：臭気対策として、できるところがやっていければと思う。飛行場を降りて、牛が見えないのに、臭いがするというのは印象が良くないのかなと思う。中標津は、体験というのがなかなかないと思うので、酪農の体験ツアーをやるのも良いと思う。

委員：中標津は酪農と畑作が混在している地域である。そのような地域は珍しいと思う。できたものをブランド化していくというのは、育っているのかわからない。観光も大事であるが、中標津としてのブランド化の育成も大事だと思う。あとは、ソーラーパネルがたくさんあり、景観の悪さはみっともないと感じる。

委員：コロナ禍で、都会で働くことができない人が出てきて、コロナ禍をきっかけに働き方を変えたいという人がたくさん出ていると思う。新しい産業といたら変かもしれないが、テレワークなどの推進や雇用を増やすことなどの移住しやすくなるような施策は有効なのではないかと思う。

会長：生産はしてきているけども、見（魅）せる農業はしてきていなかった。農業というのを見せながらやっていくのは良いと思う。観光にも繋がっていくと思う。他には、後継者対策や人口増加にも繋がっていくと思う。

委員：観光の話だが、酪農の施設には観光客を入れないという決まりがあると思うが、可能なのか。

会長：牧場の中でも入れるエリアが限られていて、どこでも入れるということではない。口蹄疫の問題もあり、来られる国も限られている。観光バスのまま入ることができて、搾乳など見られれば良いと思う。伝染病の話をするれば、そもそも空港から降りないでということにもなってしまうと思う。

委員：テレワークの話も出ていたが、サテライトオフィスの場所を提供するのも良いと思う。

委員：事業を拡大しても働き手がいなくて何もできないと思う。農業だけではなく、商業の部分でも対応していかないと、商業がつぶれていってしまうのではないかと思う。働き手不足であるため、働き手を育てることも大切だと思う。働きたくても働けない雇用対策を重点していった方が良いのかなと思う。

委員：6次産業化の話をしていたが、評価が低かったのが印象に残っている。ブランド化

や体験型農業などを推進していくために、時間がかかっているのが現状だと思う。
みなさんの意見を集約していくと、6 次産業化というのはこれからも推進していか
ないといけないと思う。

(3) その他

次回会議日程は10月15日(木)となります。

4 閉会